

発行：社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会
問合せ：ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク
川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター 6階
Tel：044-739-8720 / E-mail：jyoho@csw-kawasaki.or.jp

2025年冬号の内容は…

- ★令和7年度「福祉基金助成金」、「電話相談実務者研修」について
- ★「社会保障」に関する図書の紹介
- ★ふくみみ登録団体「Thoughtful Gift (ソースフルギフト)」の紹介
- ★新着図書の紹介



令和7年度「福祉基金助成金」申請団体を募集します

川崎市社会福祉協議会では、互いに助け合い、支え合うことができる地域づくりを目指し、その役割を担う団体を育成・支援することを目的に助成事業を実施します。現在の活動をさらに発展させたい場合や、団体立ち上げのスタートアップにご活用ください。福祉の活動に携わる団体・グループを応援します！

[対象事業]

- 川崎市の地域住民のために行う事業であること
 - 実施事業が地域福祉の裾野を広げるものであること
- 例えば、次のような活動が対象になります。
- ◇広く地域に福祉教育を進めるための取組み
 - ◇誰でも利用できる地域の居場所を運営
 - ◇児童・生徒の学習を支援 等

- ・スタートアップ … 最大30万円
- ・活動をさらに発展 … 最大50万円
(複数年度で最大100万円)

市社協キャラクター
ななふく



福祉基金助成金は
こちらから

詳しくは「川崎市社会福祉協議会福祉基金助成事業 令和7年度募集要項」をご確認ください。
募集要項は川崎市社会福祉協議会・各区社会福祉協議会の窓口等でも配布しています。
申込締切：令和7年1月31日(金) (当日消印有効)

他にも、川崎市社会福祉協議会に周知依頼のあった、地域福祉活動・団体に活用できる助成金の情報をHPに掲載していますので、そちらも合わせてご覧ください。



川崎市社協HP
助成金一覧

- 問い合わせ先 川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター
Tel：044-739-8718 / E-mail：v-center@csw-kawasaki.or.jp



「電話相談実務者研修」を開催します



「聴く力を養う～電話相談の専門性～」をテーマに、杉山雅宏先生(東京家政大学 人文学部心理カウンセリング学科教授)を講師に迎え、電話相談に焦点を当てた研修を行います。職員の対応技術向上を目的とし、電話相談の役割、対応の基本姿勢、相談員が苦慮しがちな電話への基本対応などについて学びます。

昨年の受講者からは「とても楽しく、大事なことを学ぶことができた」「傾聴することの大切さに気づくことができた」などの感想が寄せられました。杉山先生のお話が面白く、毎年大好評の研修です。ぜひご参加ください！

日時：令和7年3月4日(火) 13:30～16:00
場所：川崎市社会福祉協議会(エポックなかはら6階 研修室)



申し込み開始は2月中旬を予定。詳しくはHPに掲載します。

- 問い合わせ先 川崎市社会福祉協議会 地域福祉情報バンク
Tel：044-739-8720 / E-mail：jyoho@csw-kawasaki.or.jp

川崎市社協 HP





社会保障制度とは、国民の安心や生活の安定を支えるセーフティネットです。日本には、医療保険、公的年金、生活保護など、生活が困難になったとき、個人にかわって国が生活の保障を行う様々な制度があります。

病気・失業・障害・子育て・介護などで日々の生活に困った時、どこに相談し、具体的にどのような手続きをすればよいのかご存知でしょうか？

制度の利用にあたっては、自主的な「申請」を必要とすることも多いため、制度を知り、理解しておくことが大切です。いざという時に慌てないためにも、社会保障制度についての知識をつけておきましょう！

社会保障のトリセツ <第2版>

医療・年金・介護・労災・失業・障がい・子育て・生活保護…。困ったときに役所の窓口を持っていこう。

“お悩み”から自分が利用すべき制度を逆引きできる、いちばんやさしい社会保障の本の最新版！

社会保障法を専門としている大学教授による、信頼の内容です。
(山下慎一:著/弘文堂/
2024年発行)



15歳からの社会保障

人生のピンチに備えて知っておこう！

家族、学校、お金、仕事、住まい、体調…。日常生活でピンチに見舞われた10人のストーリーを通して社会保障制度を学べる一冊。

あなたや大切な誰かを守るために知っておきたい、生き延びるための大切な知識を伝えます。
(横山北斗:著/日本評論社/
2022年発行)



マンガでカンタン！

社会保障で得するお金は7日間でわかります。

「社会保障で得するお金」の知識を7日間で身につけられる、ストーリー仕立てのマンガ講義。全7章の講義には「社会保障って、こんなに頼もしい制度なのか！」とわかる仕掛けが満載。

将来お金を損したくない人、浮いたお金でやりたいことがある人、楽しくサクサク学びたい人にピッタリな一冊。

(井戸美枝:著、モチコ:漫画/
Gakken/2024年発行)



死なないノウハウ

独り身の「金欠」から「散骨」まで

「急な病気で収入を失ったら…」 「家族の介護が必要に…」 「相続でもめたくない…」 「自分の死後、スマホやサブスクの解約は…」 など、誰もが抱える不安について、知っておきたい情報が満載！

社会保障制度や、困ったの時の相談先などを、各分野の専門家から学べます。

(雨宮処凛:著/光文社新書/
2024年発行)



流れと対応がチャートでわかる！

子どもと大人の福祉制度の歩き方

大人編と子ども編に分け、複雑な福祉制度の全体像をチャートで示して解説。各章には登場人物を出し、場面ごとに区切って説明していくため、使える制度の概要がピンポイントに理解できます。

(浜内彩乃:著/
ソシム/2024年発行)



関連図書

- 現場で役立つ！ 社会保障制度活用ガイド 2024年版 (中央法規「ケアマネジャー」編集部、福島敏行:著/中央法規出版/2024年発行)
- 健康で文化的な最低限度の生活(1)～(12) (柏木ハルコ:著/小学館/2014年～発行中)
- 学校では教えてくれない生活保護 (雨宮処凛:著/河出書房新社/2023年発行)





Thoughtful Gift (ソースフルギフト)

Thoughtful Gift (ソースフルギフト) は、精神科病院に入院する方へ、入院の際に必要な物資（衣類・下着・アメニティセット等）を無償で届ける活動をしています。2021年4月に活動を開始してから3年8カ月で、神奈川県内25か所の精神科病院からの依頼約400件に対応しました。

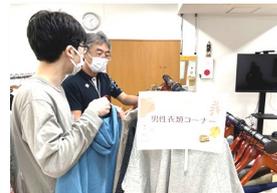
昨年からは、バザーのような形で支援を届ける「えらんでマルシェ」を病院内で開催。入院中の患者さんに直接選んでいただくイベントは大好評で、衣類や日用品600点を寄付しました。

社会人・学生ボランティア約15名が、様々な分野で活動を支えており、「私たちはあなたの回復をゆっくり待っています」というメッセージを届けています。

どのような方からの依頼が多いですか？

家族がいない・金銭的に余裕がない等の理由で、入院に必要なものが用意できなかつたり、病院の持ち込み制限により用意したものが持ち込めなかつた方からの依頼を、病院のソーシャルワーカーや看護師を通じて受けることが多いです。

衣類・日用品・文具具などをセットにして、手書きのメッセージカードと一緒にお届けしています。



えらんでマルシェの様子



HPはこちらから



活動を続ける原動力は？

お送りしている物品にアンケートはがきを同封しており、受け取ったご本人から感謝のメッセージをいただいた時が一番嬉しいです。精神科入院中にもかかわらず優しい言葉がたくさん返ってきます。

また、企業側から使ってほしいとご寄付をいただく時も嬉しく、その思いを繋げようという気持ちが、この活動を続ける原動力となっています。

活動に参加したい人はどうしたらよいですか？

定期的で開催している事業報告会に参加していただき、活動内容を理解してからボランティアとしてご参加いただいています。

事務局・在庫管理・発送作業・医療福祉・企業連携等のチームに分かれており、リモートでボランティアに参加しているメンバーもいます。

ご寄付をお考えの方はホームページの寄付ボランティアページをご確認ください。

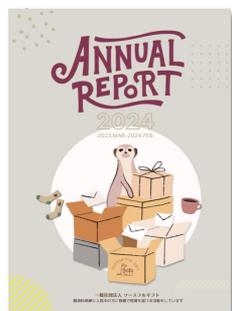
<https://www.thoughtfulgift.org/support>

※ 個人からの物品寄付は募っておりません

困っていることや、これからの課題は？

ありがたいことに物品の寄付が増え、一時的に保管する場所が足りず困っています。空き家や病院の空き部屋などが活用ができないか模索中です。また、物品を保管場所から発送作業場所へ車で移動する作業を手伝っていただける方がいると助かります。

今後は、私たちと同じような活動をしている団体を探し、繋がることで一緒に活動を広げていきたいと思っています。



アニュアルレポートやブログで活動の様子を紹介しています！



アニュアルレポート



ブログ

読者の方に伝えたいことは？

寂しさや不安に寄り添う一つのあり方として、「そっと寄り添いたい」と思っている方々から集まったモノをキモチと一緒に届けています。

3月29日(土)に開催する事業報告会へ、ぜひお越しください。この活動を始めた社会的背景や現在の活動についてご説明します(要申込み)。



ソースフルギフト
一般社団法人 Thoughtful Gift

Mail: secretariat@thoughtfulgift.org



事業報告会にご参加ください！
3月29日(土) 10:30~12:00
多摩区 生田出張所 会議室にて
※お申込みはこちらから⇒





新着図書を紹介

蔵書検索は『ふくみみ』で！
<http://k-fukumimi.com/>



【図書】（書名／著者・編者名／出版社）

- 服罪 無期懲役判決を受けたある男の記録／木原育子／論創社
- イラストでわかる 高齢者のからだ図鑑／kei、長島佳歩／Gakken
- ルポ 無縁遺骨 誰があなたを引き取るか／森下香枝／朝日新聞出版
- 図解でわかる 介護保険サービス／小林哲也／中央法規出版
- おもいでメガネ 認知症になったおばあちゃんと僕と家族の物語／ないとうともあき、やまぐちかん／主婦の友社
- 終活1年目の教科書 後悔のない人生を送るための新しい終活法／黒田尚子／アスコム
- 認知症ポジティブおばあちゃん～在宅介護のしあわせナビ／だんだん・えむ、遠藤英俊／フォレスト出版
- 親の見守り・介護をラクにする 道具・アイデア・考えること／工藤広伸／翔泳社
- 介護ヘルパーごたごた日記／佐東しお／三五館シンシャ
- 老後ひとり難民／沢村香苗／幻冬舎
- 親が悪い、だけじゃない 虐待経験者たちのREAL VOICE／山本昌子／KADOKAWA
- 耳が聞こえなくなっても 聴力0の世界で見つけた私らしい生き方／牧野友香子／KADOKAWA
- きょうだいの進路・結婚・親亡きあと 50の疑問・不安に弁護士できょうだいの私が答えます／藤木和子／中央法規出版
- むずかしい毎日に、むづかしい話をしよう。／平熱／東洋館出版社
- 私が私として、私らしく生きる、暮らす／河合明子、日高愛／クリエイツかもがわ
- おうち避難のための マンガ 防災図鑑／草野かおる／飛鳥新社
- トウレット症の僕が「世界一幸せ」と胸を張れる理由／酒井隆成／扶桑社



- そのまま使える〈スッキリ図解〉介護・障害福祉BCP作成ガイド／小濱道博、小林香織、小林柔斗／翔泳社
- 8050問題 本人・家族の心をひらく支援のポイント／山根俊恵／中央法規出版
- 対人援助職の力量を高める11のスキル／荒木篤／中央法規出版
- 図解でわかる ソーシャルワーク／鈴木孝典、鈴木裕介／中央法規出版
- マンガでわかる！ 学校に行かない子どもが見ている世界／西野博之、來來珈琲店／KADOKAWA
- 懲の生えた病棟で ルポ 神出病院虐待事件／神戸新聞取材班／毎日新聞出版
- 精神病院・認知症の間に九人のジャーナリストが迫る／大熊由紀子／ぶどう社
- だから、もう眠らせてほしい 安楽死と緩和ケアを巡る、私たちの物語／西智弘／晶文社
- 伴走者は落ち着けない 精神科医 斎藤学と治っても通いたい患者たち／インベカヨリ★／ライフサイエンス出版
- もしかして となりの親子は里親子!? 里親家庭10組の、おとなと子どもの物語／三輪清子／理工図書
- 結婚も出産もせず親になりました 非婚のわたしが養子と作る〈新しい家族〉／バク・ジゾン／大和書房
- 政策起業家／駒崎弘樹／筑摩書房
- 小鳥とリムジン／小川糸／ポプラ社
- わたしの知る花／町田そのこ／中央公論新社



【コミック】（書名／著者／出版社）

- リアル (1)～(16)／井上雄彦／集英社
- 南海トラフ巨大地震 (1)～(2)／よしづきくみち、biki／講談社
- 19番目のカルテ 徳重晃の問診 (10)／富士屋カツヒト、川下剛史／コアミックス
- リエゾン こどものこころ診療所 (18)／ヨンチャン、竹村優作／講談社

ふくみみ登録団体への取材は、今号で11回目となりました。今後も地域で活動している団体を取り上げ、活動内容とともに活動している方々の思いも伝えていきたいと思っています。

こちらの紙面でご自分の団体も取り上げてもらいたいという方は、ぜひ情報バンクまでお問い合わせください。

「地域福祉情報バンク通信」についてのご意見・ご感想などもお待ちしております。次号は4月1日発行予定です。(ま)

地域福祉情報バンクは、平日8:30から17:00まで開所しています。毎月第4水曜日は、川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）の保守点検日のため、17:00以降に1階受付窓口での図書・DVDの返却ができませんのでご注意ください。

